

令和8年度（2026年度）

三重大学大学院教育学研究科  
専門職学位課程 教職実践高度化専攻  
入学試験問題（一次募集）

## 筆記試験（小論文）

令和7年（2025年）8月21日（木） 試験時間：9：00～10：30

### 注意

1. 指示があるまで冊子を開かないでください。
2. この冊子は、表紙、問題用紙、メモ用紙、解答用紙を含めて8枚です。試験開始後ただちに落丁、乱丁等の有無を確認し、異常がある場合には監督者に申し出てください。
3. 受験番号は、表紙、問題用紙ならびに解答用紙上のそれぞれ指定された箇所に必ず記入してください。
4. 試験開始から試験終了までは、試験室からの退室を認めません。試験中の体調不良又はトイレ等やむを得ない場合には、自席で挙手し監督者の指示に従ってください。
5. 表紙、解答用紙、問題用紙、メモ用紙の全てを回収しますので、持ち帰らないでください。
6. その他、解答にあたっては、監督者の指示に従ってください。
7. 解答用紙は、文字が判読できるように楷書でしっかりと記述してください。

## 問 1

近年、多様な文化的背景や言語的ニーズを持つ外国人児童生徒が増加し、教育的な対応の充実が急務となる一方、様々な課題が顕在化してきています。例えば、外国人児童生徒にとっての日本語習得の難しさ、日本の学校への適応の難しさ、人間関係の形成の困難さと「居場所」の欠如、日本語指導や教科学習のサポートの不足、進路と将来への不安などが挙げられます。

日本語指導や教科学習などの課題については、外国人児童生徒に対する個別の働きかけとして、『外国人児童生徒受け入れの手引き 改訂版』（文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課，2019年）などを参考に、各学校で方策が講じられています。一方で、日本の児童生徒が異文化に触れ、理解を深める機会に限られており、共に学ぶ環境づくりが課題となっています。

そこで、外国人児童生徒を含めたすべての児童生徒に異文化理解や多文化共生の考えが持てるように、あなたはどのような学級経営や授業実践を構想しますか。以下の順序に沿って、600字から900字程度で具体的に述べてください。

- 1 すべての児童生徒に、なぜ異文化理解や多文化共生の考えを持つことが必要なのかを説明してください。
- 2 長期的な視点を持って、具体的な学級経営や授業実践を述べてください。

問 2

2024年12月、中央教育審議会に対して「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」が諮問されました。そこでは、子どもたちを取り巻くこれからの社会の状況や現在の学校現場の状況から、3つの課題が示されています。その内の1つとして、児童生徒が学ぶ意義を十分に見いだせていないことが挙げられています。

この課題に対して、あなたはどのように授業を構成しますか。以下の順序に沿って、600字～900字程度で述べてください。まず、対象とする学校種・教科等を挙げ、その教科等の本質的な意義について理由とともに説明してください。次に、単なる個別知識の集積にとどまらず、児童生徒がその意義を深く理解できるような授業について、児童生徒に提示する具体的な学習課題や学習活動を示しながら説明してください。